

高知地裁で 第2回口頭弁論

高知での裁判は、1954年米国の水爆実験で、日米両政府が200万ドルで政治決着した事で米国に損害賠償を求める権利が行使できなくなったとして、被ばくした高知県内の元漁船員と遺族ら19人が、憲法29条3項に基づく損失補償を国に対して求めている裁判です。



高知地裁に入廷する原告団 2022. 9. 2

9月2日、コロナ感染拡大が懸念される中、高知地裁で第2回口頭弁論が行われました。下本節子原告団長、南拓人弁護団長、支援する会の皆さんが横断幕を手に入廷しました。13時半からの非公開の進行協議に続いて、14時から口頭弁論に入りました。原告側に下本原告団長と7人の弁護団が、被告側は3人の弁護団が並びました。傍聴席には支援する会のメンバーなど28人が座りました。南弁護士が原告ら第2準備書面について主張を行い、また高林弁護士が弁護団からの意見陳述を行い、6.17の証拠保全としての証人尋問を踏まえても、原告の元漁船員に許される時間が残されていないことを主張しました。

今回の口頭弁論では、被告(国)が2022年3月31日付の第1準備書面に対して南弁護士が反論しました。

～ 概要報告 ～

【原告の主張①】 被告が「原告の損害賠償請求権は私有財産に該当しない」と主張したことに対して、南弁護士は「日米合意で損害賠償権行使ができなくなったことによる損害賠償請求権は、単純な金銭債権であり、『私有財産』に当たる」、故に損失補償の対象となる。

【原告の主張②】 被告は、仮に米国に対する損害賠償請求権を行使できなくなったとしても、憲法第29条3

項の「公共のために用いる」に該当しないと主張。これに対して、本件被災船員らは、何らの補償もされず米国への損害賠償請求もできないという**特別の犠牲**を強いられたとし、我が国全体で負担して保護することが公平性の理念に合致すると主張。

【原告の主張③】 被告は、改正前民報第724条を類推適用して、55年の「日米合意」から20年の除斥期間をすぎ損失補償請求はできないと主張。これに対して、被告は日米合意を行い、被ばく船員の追跡調査や健康診断等一切行わなかった。被告が「除斥期間を主張することは信義則違反・権利の乱用」だと主張。

さらに「除斥期間を適用するとしても、起算点は厚労省がビキニ事件の情報を開示した2014年9月20日にすべきだ。なぜなら、それまで元漁船員らは被ばくに係る情報を全く知らされていなかったからだ」と主張。

【原告の主張④】 被告は実験海域を「危険区域」と周知していたと主張。これに対して、「国側が主張する『周知』は官報での告示にすぎず、理由も『兵器の実験』と極めて抽象的であり、水爆実験であることが全く明らかにされていなかった」と主張。

裁判後に開かれた報告集会・記者会見で、原告団長の下本節子さんは「この裁判は、ロシアによる核兵器の威嚇や核実験、原発など、核の危険性を訴える裁判だと思っています。核被害者の希望は核兵器禁止条約です」と裁判への決意と展望を語りました。

第3回口頭弁論 12月16日(金) 14:00～



東京と高知の裁判の動きは、右のQRコードからご覧いただけます。



ビキニ裁判を支援するクラウドファンディング 9月1日スタートしました

9/25 現在 1,590,000 円



ビキニ国賠訴訟裁判では、高知地裁、高松高裁とも、①国家賠償請求権は除斥期間を過ぎている。②政府が意図的に隠した事実はない。とし、訴えを棄却しました。しかし一方で、「漁船員の救済の必要性については改めて検討されるべきと考える」と、元船員らの救済の必要性に言及し、被ばくの事実を認定し、立法府・行政府に救済の道を促したのです。

「ビキニ事件」はまだ終わっていません。私たちは国賠訴訟から行政訴訟に切り替へ、被ばく船員訴訟は、高知地裁と東京地裁の二つの裁判所で審理が開始され、9月2日高知地裁で第2回目の口頭弁論が行われました。

ご案内のクラウドファンディング「ビキニ被ばく船員訴訟支援プロジェクト」は、原告19名と弁護士24名でたたかう裁判費用を、1,000万円近くを見込み、うち500万円以上をクラウドファンディングで募らせていただき、裁判を財政支援でささえます。

「ビキニ事件」は、戦後の間に葬られた人権侵害事件です。元漁船員に残された時間は少なくなっています一日も早く、遺族と共に救済されることを願って頑張っています。ぜひ多くのおみなさんのご支援をよろしくお願いいたします。

クラウドファンディングの URL

<https://readyfor.jp/projects/Bikini1954>

問合せ先: 高知県原水協内(松繁) TEL/FAX(088)875-3917

Mail: kochigensuikyoku@outlook.jp